

# 令和5年度国債発行計画の概要

- 国債発行総額は205.8兆円（対令和4年度当初比 ▲9.3兆円）
- カレンダーベース市中発行額は190.3兆円（同 ▲8.3兆円）とし、
  - ・ 利付債の毎月の発行額は、全年限において令和4年度2次補正後を維持した上で、
  - ・ 前年度からの減額を、全て短期債の減額に充てることとする
- ※ これにより、平均償還年限を長期化 7年9カ月（令和4年度当初）→ 8年1カ月（令和5年度当初）
- GX経済移行債（仮称）の具体的な発行方法については、GX実行会議での議論や市場参加者の意見も踏まえ、関係省庁で協力して検討する

## <発行根拠法別発行額>

（単位：兆円）

区分	令和5年度当初	
	対令和4年度当初	
新規国債 (建設・特例国債)	<b>35.6</b>	▲1.3 (36.9)
GX経済移行債（仮称）	<b>0.5</b>	+0.5 [皆増]
復興債	<b>0.1</b>	▲0.1 (0.2)
財投債	<b>12.0</b>	▲13.0 (25.0)
借換債	<b>157.6</b>	+4.6 (152.9)
国債発行総額	<b>205.8</b>	▲9.3 (215.0)

## <消化方式別発行額>

（単位：兆円）

区分	令和5年度当初	
	対令和4年度当初	
カレンダーベース市中発行額	<b>190.3</b>	▲8.3
うち		
40年債	<b>4.2</b>	-
30年債	<b>10.8</b>	-
20年債	<b>14.4</b>	-
10年債	<b>32.4</b>	-
5年債	<b>30.0</b>	-
2年債	<b>34.8</b>	+1.2
1年割引短期国債	<b>42.0</b>	-
6ヵ月割引短期国債	<b>8.7</b>	▲9.7
10年物価連動債	<b>1.0</b>	+0.2
流動性供給入札	<b>12.0</b>	-
その他	<b>15.5</b>	▲1.0
合計	<b>205.8</b>	▲9.3

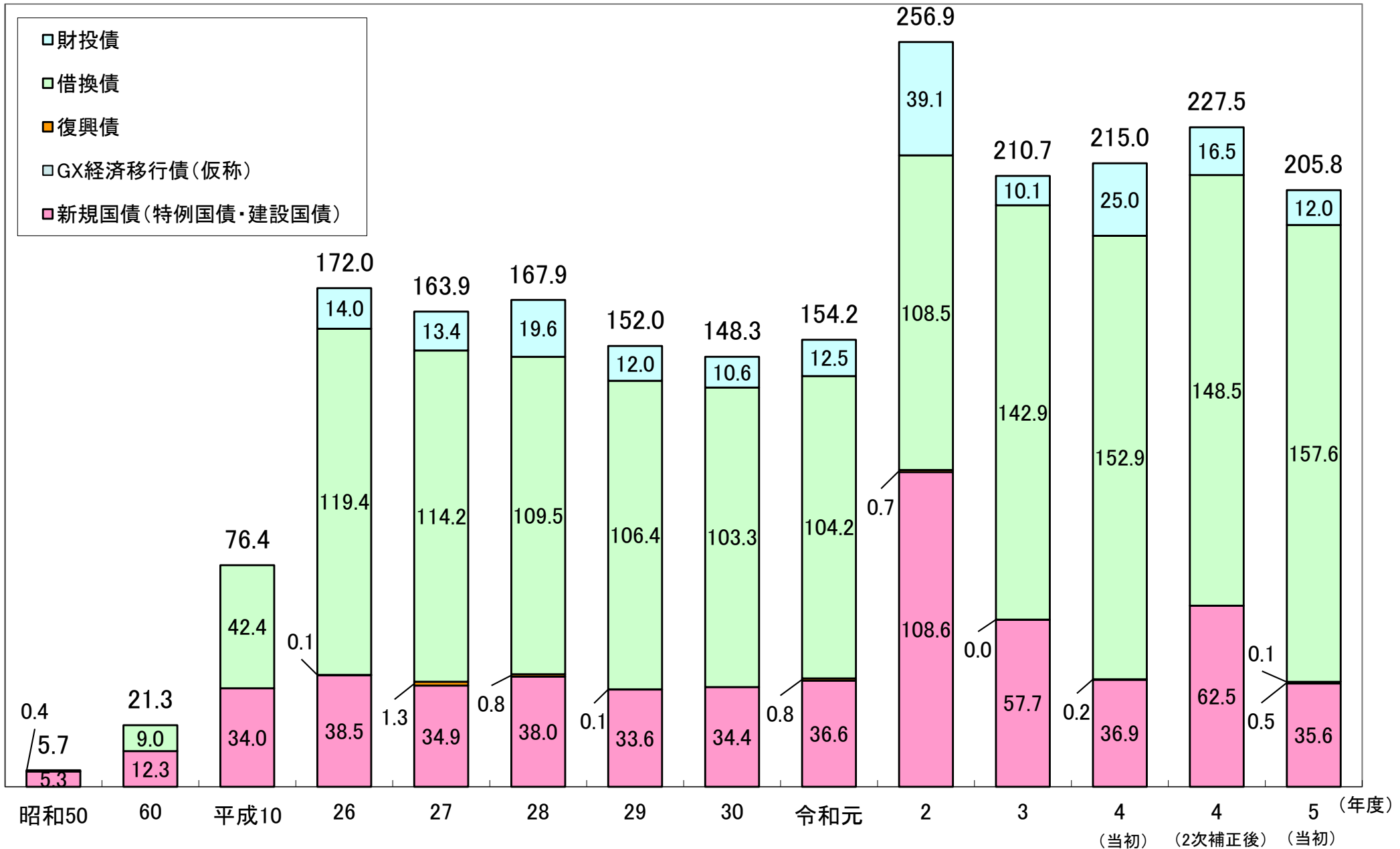
（注1）括弧内は令和4年度発行予定額（当初）

（注2）GX経済移行債（仮称）の発行額は、令和5年度分の0.5兆円のほか、令和4年度第2次補正予算で先行的に措置した1.1兆円分に係る借換債を合わせれば1.6兆円となる

（注3）計数ごとに四捨五入したため、合計において一致しない場合がある

# 国債発行総額の推移

(兆円)

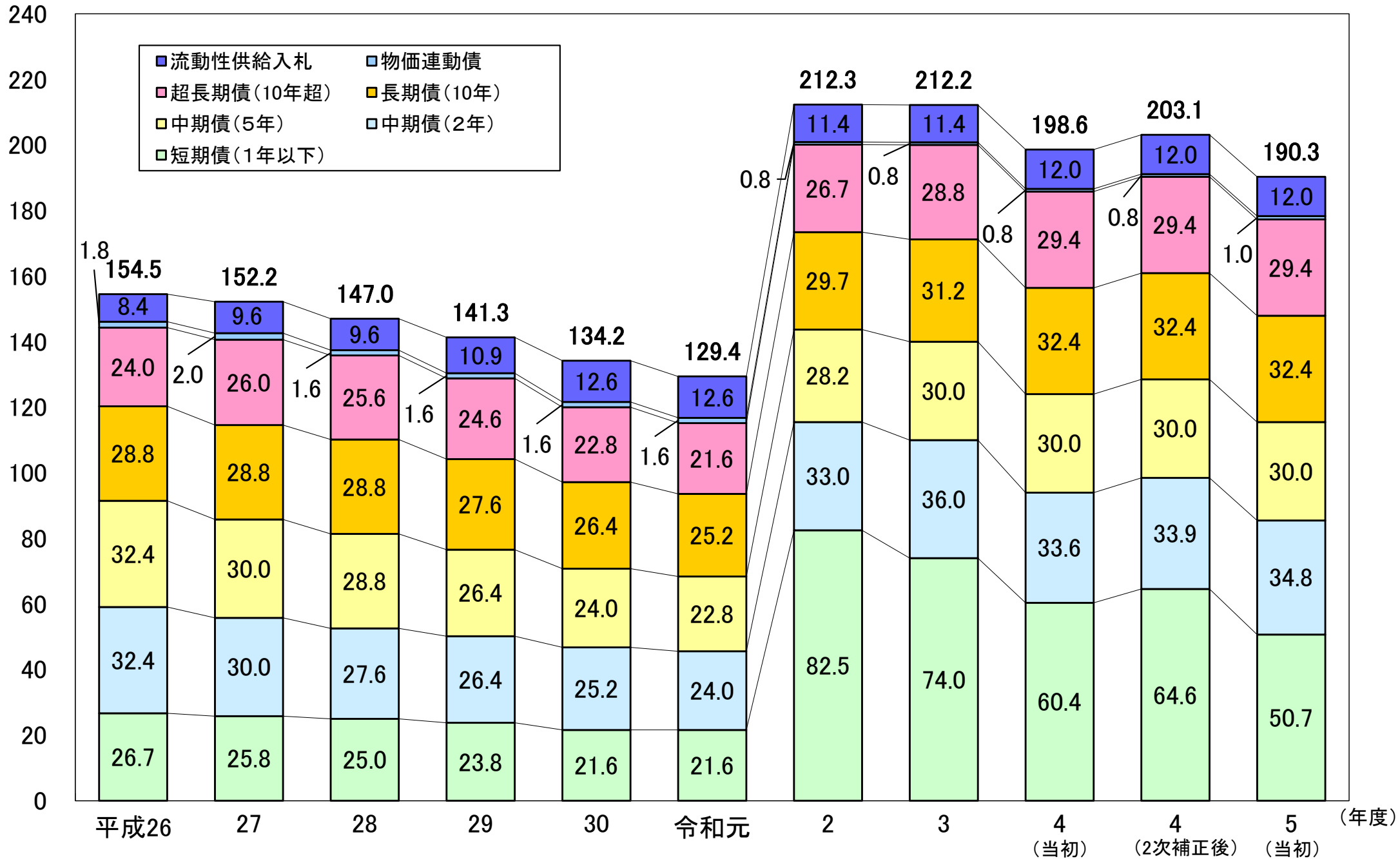


(注1) 令和3年度までは実績。

(注2) 計数ごとに四捨五入したため、合計において一致しない場合がある。

# カレンダーベース市中発行額の推移

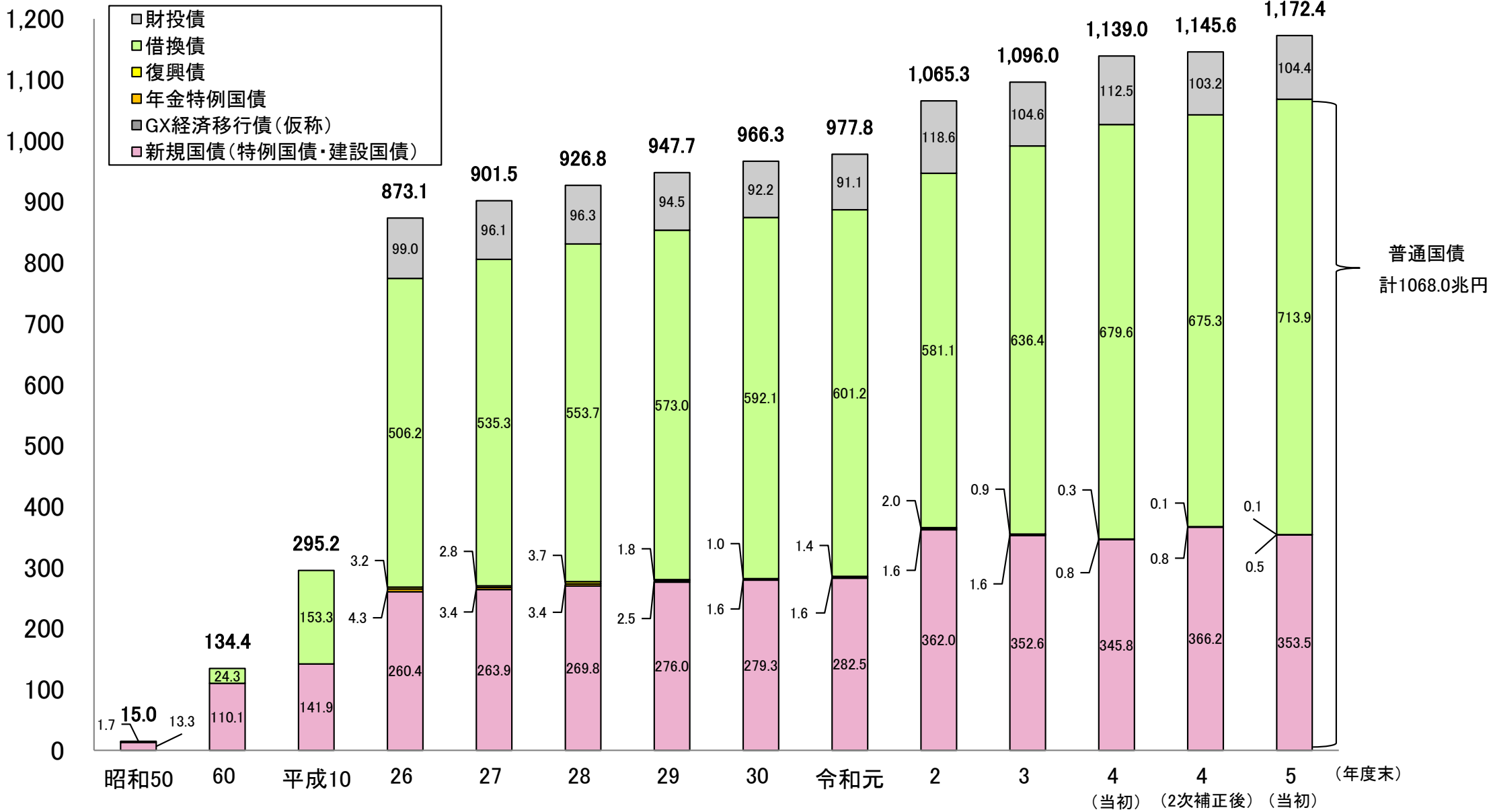
(兆円)



(注) 令和3年度までは最終補正ベース。

# 国債発行残高の推移

(兆円)

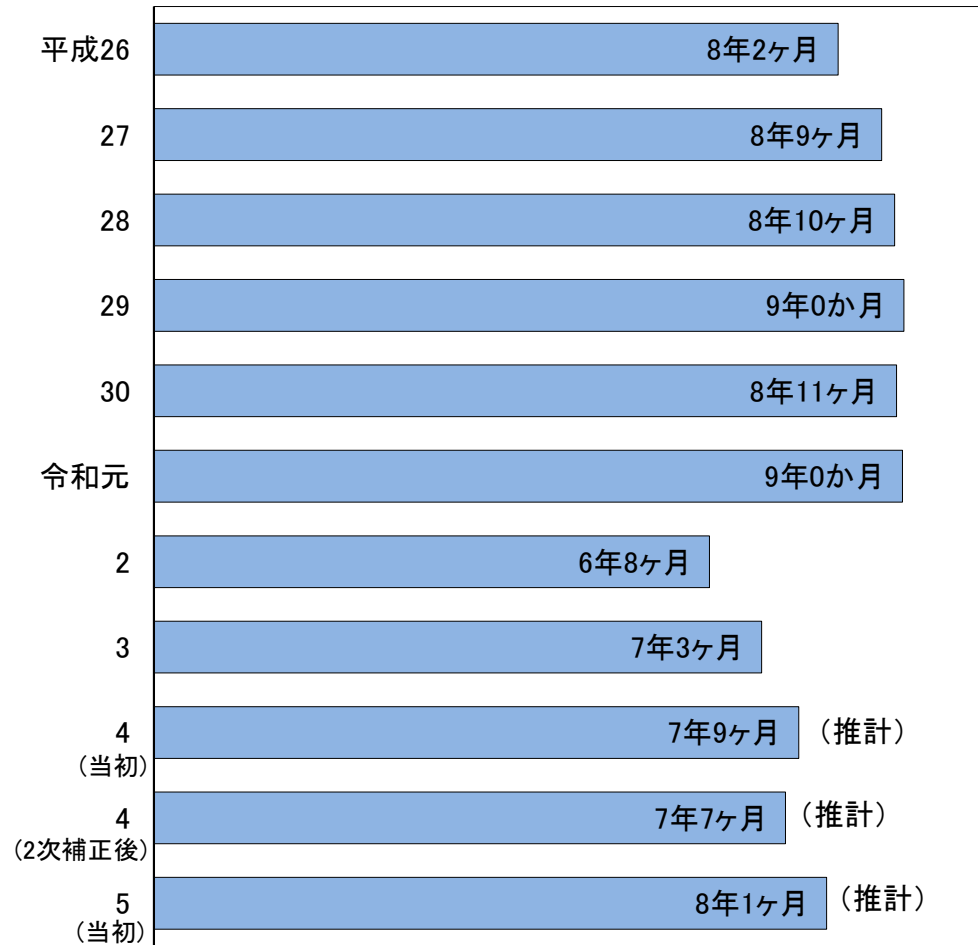


(注1) 令和3年度末までは実績。令和4年度末はそれぞれ当初予算ベース、2次補正予算後ベース(ともに前倒債20兆円を含む)。令和5年度末は当初予算ベース(前倒債25兆円を含む)。

(注2) 計数ごとに四捨五入したため、合計において一致しない場合がある。

# 日本国債の平均償還年限

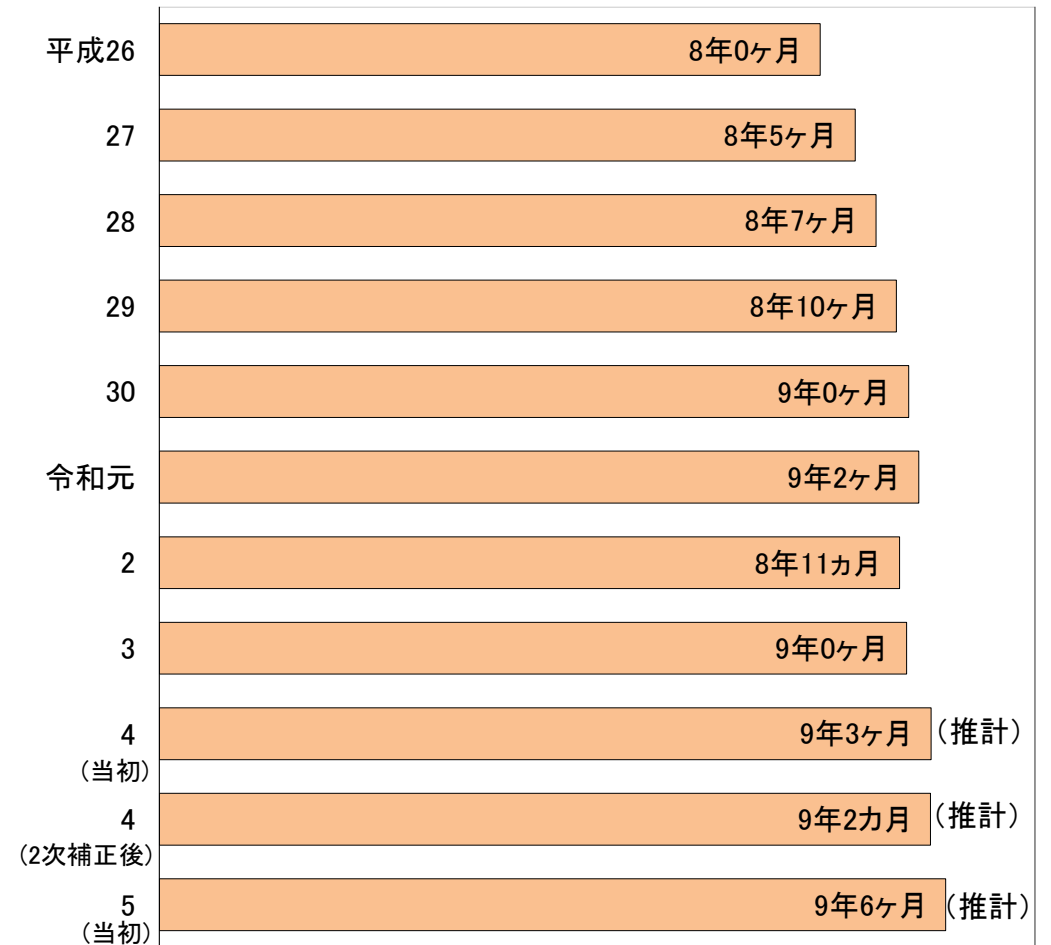
## カレンダーベース(フロー)



(年度)

(注) 令和3年度までは実績。

## 発行残高ベース(ストック)



(年度末)

(注) 普通国債残高。令和3年度末までは実績。